

# 姫路市の生活保護世帯

## 10年前の2倍以上

もに  
助倍  
援2.5  
就学

姫路市で昨年度、生活保護を受けたのは平均で3053世帯と、10年前に比べて2倍以上に増えたことが20日、わかった。支給総額も10年間で38億1700万円から76億900万円に増加。小・中学生のいる生活保護世帯などに支給する就学援助も10年間で受給対象者が3600人以上増え、支給総額も2億円以上の増加となっている。

7年度の平均が1484世帯だったのに対し、17年度は3053世帯と10年間で2倍以上に。要因は「経済的に苦しくなった高齢者世帯が増えたため」と同市民生活保護課。収入が増えたり、就職するなど受給資格を失いながら受給を続けたりしていたケースは昨年度で41件あった。同課は「報告の遅れ、制度の勘違いなどの事例が大半。その申告をするなど悪質な不正受給がないよう、適切に対処していきたい」としている。

一方、就学援助も対象者が8年度には小・中学生計2378人だったのが、17年度は5996人と約2.5倍に。支給総額も1億2300万円から3億4300万円に増加した。

市教委は「必要な家庭には援助したいが、総額の増え方が著しく、圧縮も視野に入れなければならない」と話している。

市のまとめでは、保護費を受給した世帯は平成